

あなごるな

「歯周病」

歯周病は歯磨き不足などが原因で歯と歯茎の間の溝（歯周ポケット）に歯周病菌が増殖し出血や腫れなどの炎症を引き起こす病です。

近年、歯周病が進行すると生活習慣病である動脈硬化や糖尿病を悪化させることが分かってきました。

重度の歯周病になると歯周病の原因である歯周病菌が血液中に入り込み、血小板と結合して血栓（血の固まり）を作ってしまうことがあります。その血栓が、長年の喫煙、高カロリーの食事、運動不足などで動脈硬化を起こして細くなった血管に流れつき、心筋梗塞を発症した例も報告されています。

「口の中の細菌が全身をめくり悪さをする。」

我々医療者側からみ見ると至極自然な現象です。人間の体内にある臓器はすべて血管リンパ管、神経で繋がっていて、ホルモンや酵素などで作用、

連絡しあっています。大昔は火傷や大きな切り傷で傷口からバイ菌が入り発熱を起こし倒れ、死に至る敗血症もあつたのですから。幸い現代は抗菌薬の誕生でバイ菌を退治することができ、命を落とすこともなくなりました。

歯周病が生活習慣病を悪化させないためには、何よりも生活習慣の改善が必要です。低カロリーの食事を心掛け、適度な運動をし、肥満を予防、タバコを吸わないことです。

歯周病の予防と治療のポイントは、お口の中を清潔に保つこと、患者さん自身の歯ブラシで取れない汚れや歯石などは定期的に歯科医院で清掃除去し、継続的に管理することが大切です。

文 いずみ歯科医院

副院長 泉信行



お詫びと訂正

5月号14頁那須の地名⑩の文章中の那須村長の氏名は「笹沼敬司氏」の誤りです。

お詫びして訂正いたします。